

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

膵臓癌術後補助化学療法 S1 の認容性に対する予測因子としてのフレイル指標の有用性

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【共同研究機関】 獨協医科大学医学部

【研究責任者】 船水尚武（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 講師）

【研究の目的】

過去に当科で膵臓癌の手術を受けられた患者さんのうち術後補助化学療法を行った方の診療録（カルテ）の情報を収集し、化学療法前のフレイルの有無やアルブミン値を含む指標が術後補助化学療法の完遂の予測に有用であるのかを評価する研究を行うことといたしました。この研究は、耐術能や術後合併症だけでなく、フレイルや栄養状態が化学療法の完遂に影響するのかを評価することを目的としたものです。その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2010年1月から2023年6月の間で愛媛大学医学部附属病院での膵臓癌の手術を受け、術後補助化学療法を行った患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、手術時の年齢、既往、悪性疾患の p-Stage、身長、体重、BMI、ASA 分類、術式、手術時間、出血量、輸血の有無、術前の喫煙の有無、術前の副腎皮質ステロイド使用の有無、術前の免疫抑制剤使用の有無、血液検査結果、術前治療の有無と種類、術後合併症、術後在院日数、S1 による有

害事象の有無 等

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。
獨協医科大学の患者さんのデータは、名前や住所など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、Excel ファイルに保存した電子ファイルにパスワードを付けてメールに添付することによって愛媛大学医学部附属病院に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者>愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 船水尚武

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 船水尚武
791-0295 愛媛県東温市志津川 454
Tel: 089-960-5327